

鎌足小学校

作成日 2022年10月 6日

学年	小学5年生	教科
目標		社会科
食べ物の主な産地について白地図にまとめ、産地と自然環境との関連性を考える。		単元
		くらしを支える食料生産

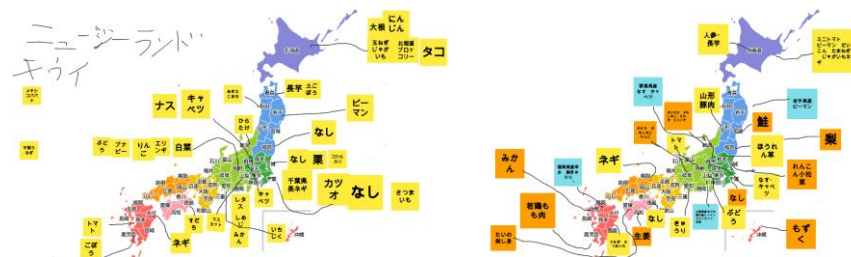
■内容

身近なスーパーなどのチラシをもとに、グループごとに食べ物の主な産地を地図にまとめる。その後、気づいたことを話し合う。

■授業の進め方

自分たちが普段食べている食べ物がどこから来ているか、インターネットでスーパーのチラシなどを検索し、生産地を調べた。

次に、グループごとに調べた内容を地図に書き入れる。その際、Jam board を活用し、グループ内の児童が同時に作業できるようにした。



←背景を日本地図にして、各都道府県で生産されているものを付箋で書き入れる。

その後、地図を見ながら気付いたことをグループ内で出し合い、話し合って意見をまとめ、Jam board に書き入れた。

新潟で
きのこがいっぱいつくられていた
群馬で
高原野菜のキャベツが
つくられていた

九州の方は、果物がたくさん作られている。

関東地方は野菜や果物が多い

山梨はぶどうやシャインマスカットが多い

←地図とは別のフレームに
気付いたことを書き込む。
場所ごとに生産されているものの特徴があることに気付いている。

北海道は、野菜が多い 特に玉ねぎ、じゃがいも、人参が有名

東北は海に面しているので魚が取れる

■児童・生徒の様子

Jam board を活用したことで、児童全員が自分の机から同時に作業することができた。また、普段自分の考えを持ってない児童も、同じグループの児童の作業の様子が見られるため、参考にしながら考えを書くことができた。

グループごとにまとめたページを比較することもでき、共通点に気付くなど、考えを深めることにもつながった。

ICT利用コンテンツ

ハード	クロームブック・電子黒板
ソフト	Google Jam board